

山梨大学合唱団 音楽監督兼常任指揮者 藤井 宏樹

去年の今頃、いったい誰がこのような世界になることを知っていたでしょうか？
梨大の毎年の営みはこの演奏会を原動力として、次の力へと昇華していました。
音楽に向かい合う学生諸君の葛藤の日々はそのすべてが宝。
そうして懸命に歌い合う繋がりが、豊かな信頼の布地を織り続けていました。そこに疑いのない幸福を抱えて。
そして今は、すべてが、自由を失い俯いている・・・。

しかし、刻はやがて 過去となり、未来はその過去が土台。
ここに、かつて無い力が今日の歌声を創り、その響きの中に、やがてくる輝きが在ることを、私は信じて疑いません。
そう、この現在は糧として有るのですから。
日々懸命に対峙した諸君の今日の歌声は1つの歴史を紡ぎます。私もそこに居ることが出来て幸せでなりません。
皆さんどうか最後までお聴きいただきますように。

藤井 宏樹

山梨県出身。

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を畑中良輔、中村義春、近藤礼子の諸氏に、指揮を黒岩英臣氏に師事。

現在、全12団体（アカシアコーラス、樹の会ユースクワイア～奏(かなみ)～、女声合唱あやのね、合唱団ゆうか、クール オルタンシア、女声アンサンブル Juri、Sonus Anima、Nekko Male Choir、はるか、明治薬科大学合唱団、山梨大学合唱団、横浜市立大学混声合唱団）を有する《樹の会》、Ensemble PVDの音楽監督を務める。

全日本合唱コンクールでは12回の金賞を受賞するほか、スペイン・トロサ国際合唱コンクール、イタリア・アレッツォ国際合唱コンクールなどにおいても、1位、2位などの高い評価を得て、海外に招聘される機会も多い。

近年ではトロサ国際合唱コンクール、全日本合唱コンクール等の審査員や、全国各地で行われる合唱講習会の講師、現代作曲家への委嘱活動、21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」主催のTokyo Cantat等、各種コンサートの企画も積極的に行っている。2014年にはウィーン・ハンガリー演奏旅行を行い、ウィーン楽友協会などで日本の優れた合唱作品を紹介し好評を博した。

オーケストラとの共演も多く、東京交響楽団などとともに、ロ短調ミサ、メサイア、モーツァルト・レクイエム、フォーレ・レクイエム等数多くの演奏を指揮している。

合唱人集団「音楽樹」代表幹事。JCDA 日本合唱指揮者協会会員。

